

今週（10月20日から10月24日）の短期金融市場動向

●無担保コール市場

今週の無担保コールO/N物は、引き続き動意に乏しい展開となった。ビッドサイドの資金調達ニーズは旺盛であり、出合いの中心は0.47%台と横ばい圏での推移となった。そのため、加重平均レートは20日(月)～23日(木)まで0.477%で安定して推移し、24日(金)も概ね同水準での取引が中心となった。

ターム物は、1W～3M程度の期間で引き合いが見られた。金融政策決定会合を直前に控え、様子見姿勢の先も見られたが、全般的には利上げに対する警戒感が緩和されており、0.5～0.6%程度での出合いとなった。

日銀当座預金残高は497兆円程度からスタートし、週を通して大きな増減なく推移した。

●債券レポ市場

今週のGC T/N物は、0.49～0.505%で推移した。週を通してオファーサイドのニーズが旺盛だったことから、付利金利近辺での取引が中心となった。

SC取引の個別銘柄では、2Y460～477回、5Y150～181回、10Y355～380回、20Y180～194回、30Y65～88回、40Y13～18回などで引き合いが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、全ゾーン横ばい圏で推移した。

24日(金)に実施された3M物入札は、事前予想に比べ強い結果となり、結果発表後のセカンダリーでも、堅調に推移した。

●CP市場

今週のCP市場は、小売り、卸売り、石油などの業態で大型発行が見られた。

市場残高については、四半期末となった9月30日には22兆円弱まで減少したが、CPによる資金調達ニーズの根強い状況に変わりはなく、期明け後は緩やかな増加傾向を辿り、23日(木)時点で23.9兆円まで回復している。

発行レートについては、引き続き0.5%以上で推移しており、銘柄や期間により投資家の運用目線にばらつきが見られた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
10/20 (月)	49,185.50	1.665	150.96	0.477	0.499	4,965,900
10/21 (火)	49,316.06	1.655	151.00	0.477	0.497	4,962,700
10/22 (水)	49,307.79	1.650	151.66	0.477	0.495	4,965,400
10/23 (木)	48,641.61	1.655	152.20	0.477	0.495	4,976,700
10/24 (金)	49,299.65	1.655	152.62	0.477	0.498	4,983,100

来週（10月27日から10月31日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
10/27 (月)	9月の企業向けサービス価格指数(日銀 8:50)				9月の米耐久財新規受注
10/28 (火)					米FOMC(1日目) 8月のS&P/ケース・シラー住宅価格指数 10月の米CB消費者信頼感指数
10/29 (水)	日銀金融政策決定会合(1日目14:00～)				米FOMC(2日目)
10/30 (木)	日銀金融政策決定会合(2日目9:00～) 経済・物価情勢の展望 日銀総裁定例会見(15:30)				ECB定例理事会 7-9月期の米GDP速報値 7-9月期のユーロ圏GDP1次速報
10/31 (金)	10月の都区部消費者物価指数(CPI 総務省 8:30) 9月の労働力調査(完全失業率 総務省 8:30) 9月の一般職業紹介状況(有効求人倍率 厚生労働省 8:30) 9月の鉱工業生産・出荷・在庫速報(経済産業省 8:50) 9月の商業動態統計速報(経済産業省 8:50) 9月の住宅着工統計(国土交通省 14:00)	TDB 3M 11/4発行 43,000億円	2Y 11/4発行 27,000億円		9月の米個人所得・消費支出(PCE) 10月のシカゴPM景況感指数 10月のユーロ圏消費者物価指数速報値

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
10/27 (月) 日銀予想	100	1,200	1,300	国債補完 CP等買入 社債等買入	900 ▲ 1,000 ▲ 200		▲ 300	1,000	TDB3M発行▲43,000 償還43,000
10/28 (火) 弊社予想	▲ 300	▲ 1,000	▲ 1,300				0	▲ 1,300	
10/29 (水) 弊社予想	▲ 500	▲ 2,000	▲ 2,500	共通担保	▲ 8,000		▲ 8,000	▲ 10,500	
10/30 (木) 弊社予想	▲ 500	▲ 3,000	▲ 3,500				0	▲ 3,500	
10/31 (金) 弊社予想	▲ 1,000	▲ 3,200	▲ 4,200				0	▲ 4,200	
週 間 合 計	▲ 2,200	▲ 8,000	▲ 10,200	—	▲ 8,300	0	▲ 8,300	▲ 18,500	

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き強い資金調達ニーズを背景に、0.475～0.478%程度での出会いが見込まれる。ターム物は、週初は引き続き様子見の先もあると思うが、金融政策決定会合の結果公表後は、警戒感が解けることにより、引き合いの増加が予想される。債券レポ GC T/N物は、参加者のスタンスに大きな変化がなければ、レートは0.45～0.505%程度での推移が予想される。短国市場は、31日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場は、金融政策決定会合前に月末発行の入札が予定されていることから、レート水準を含め動向が注目される。

主要なイベントは、国内では、29日(水)～30日(木)に日銀金融政策決定会合、経済・物価情勢の展望、31日(金)に10月の都区部消費者物価指数、9月の完全失業率、有効求人倍率、海外では、28日(火)～29日(水)に米FOMC、30日(木)にECB定例理事会、31日(金)に9月の米個人所得・消費支出(PCE)などが予定されている。

- ◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くことがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。